

化学合成糊剤を使わないたまねぎ育苗培土

～作製法と育苗管理法～

概要 Abstract

・結着作用のあるベントナイト（粘土の一種）を添加することで化学合成糊剤を使わないたまねぎの育苗培土を作製できます。

・この培土についてかん水方法など育苗管理法を示しました。

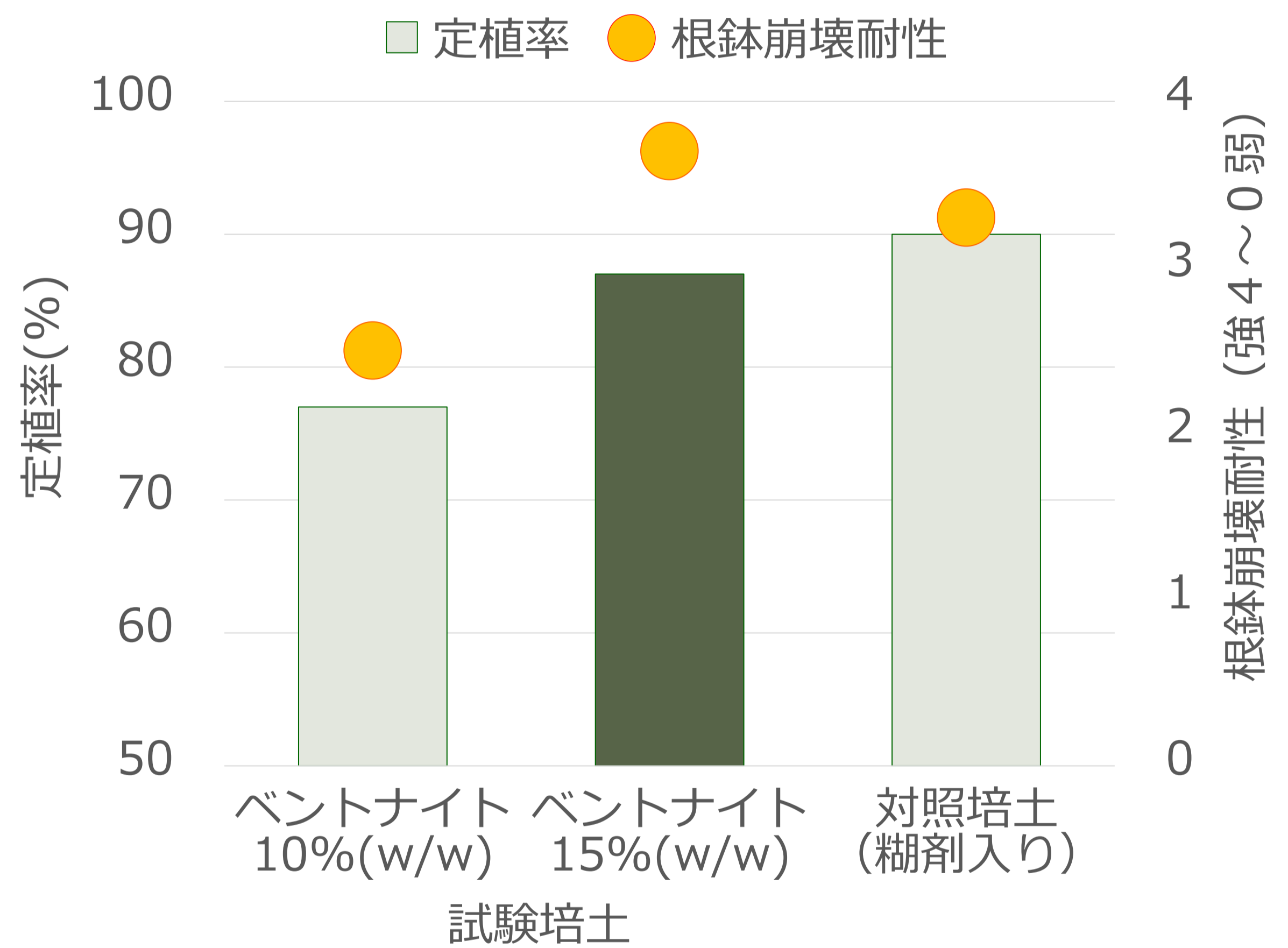
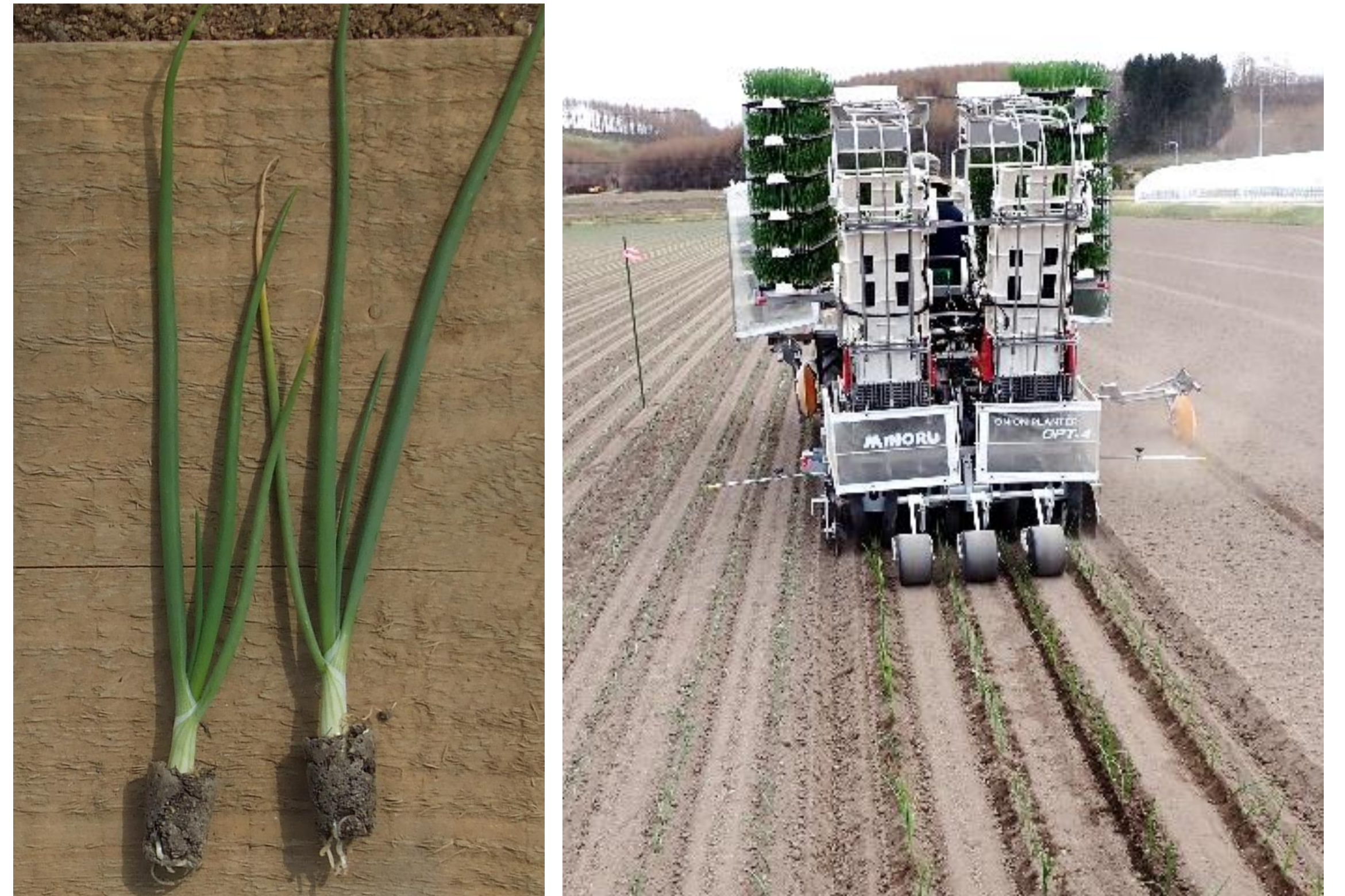
成果 Results

1. 培土の原料組成

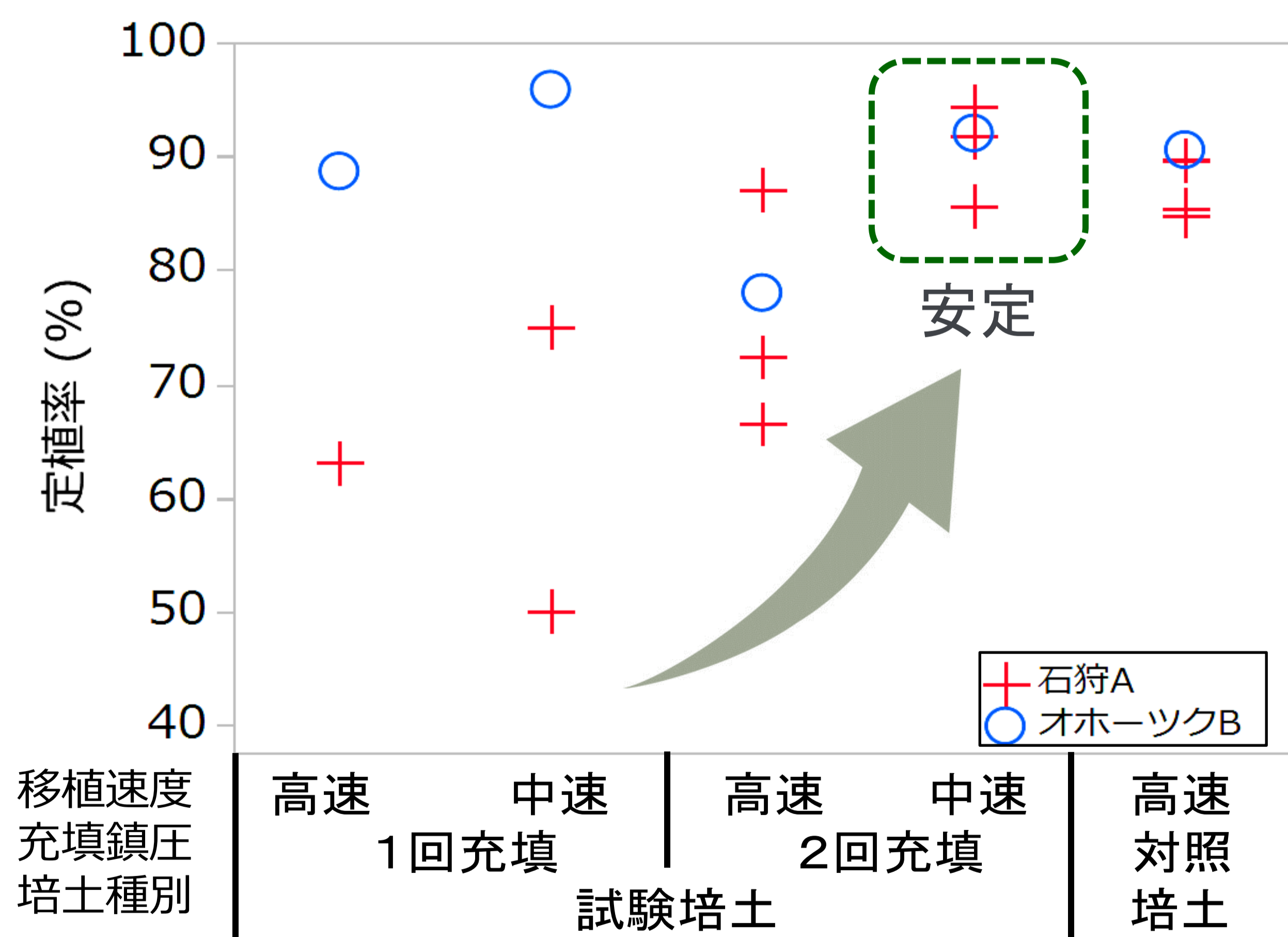
粘土	ピートモス	水分
40%(v/v)	60%(v/v)	23% に調整
ベントナイト 培土総重の15% (w/w) + 焼成粘土 (3mm篩)	pH6.0調製用 貝殻由来炭カル添加 (60 Lあたり150 g)	

ベントナイト15%(w/w)の移植精度が良好です

※定植率：欠株などを除き正常に移植された苗の割合
根鉢崩壊耐性：苗の落下試験における根鉢の強さ



2. 培土の充填鎮圧回数・移植速度



・培土の充填鎮圧回数：2回
・移植速度を落とす
⇒ 移植精度の安定

※培土の充填鎮圧回数2回には対応機種が必要です。

3. かん水管理

- ハウス設置時の初期かん水
設置初日および2日目の2回、各1 L/枚
⇒ **出芽の安定**
- 出芽後の育苗中
 - 出芽～1葉期
覆土が乾かないよう毎日、0.5～1 L/枚
 - 1～2葉期頃
乾燥し過ぎないように2～3日間隔、1 L/枚
⇒ **生育ムラの抑制**
 - 2葉期以降
7～10日程度のハードニング処理
⇒ **培土の固化促進**
- 移植前の最終かん水
移植日の3日前を目安に最終かん水
⇒ **移植精度の安定**

普及 Dissemination

新たな育苗培土を製品化する際や育苗管理時の参考としてください。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター
研究部 生産技術グループ
0125-28-2800
Hanayasai-agri@hro.or.jp